

実践事例集

事例 No. 14

本事例についてのお問い合わせは

国立赤城青少年交流の家 外部研修指導員 櫛島

までお願いいたします

団体名 (個人名)	国立赤城青少年交流の家 外部研修指導員 (キャンプファイヤー、レクリエーション)
団体(個人) 所在地	〒371-0116 群馬県前橋市富士見町原之郷790-3 セゾンフジ西207号
TEL番号	090-9006-8711
FAX番号	
メールアドレス	Nude-tamago.7-1@docomo.ne.jp
記載者の職・氏名	キャンプファイヤー指導員、櫛島 隼人

実践のあらまし

赤城青少年交流の家の利用者で、希望がある時に依頼をいただいています。ほとんどが小学校からの依頼で、時々、大学、専門学校、スポーツ少年団や子供会からもあります。また、特別支援学校からも依頼があります。

キャンプファイヤーの流れ、構成の相談、実際の指導等をさせていただいています。

実践の内容

- ・ 点火の儀式 (10分)
- ・ レクリエーション (70分) ・ ・ ゲームの指導 (コミュニケーションを取れるもの)、
フォークダンス、歌
- ・ 夜話 (10分) ・ ・ 命の話、自然の話、友達の話等
ほとんどの依頼が、90分の枠できます。

まとめ

終了後によく先生(依頼者)から言われるのが、「普段私達が言っていることを、外部の先生が言ってくると子ども達が変わる」という言葉です。楽しいゲームを行ってくれる面白い先生が、最後の10分を真剣に話すことで、より伝わると言っています。

わずか90分という時間でも、非日常体験を共有した後に話す本気の言葉は、子ども達の心を動かします。いつも必ずする話は、命についてです。協力助け合うことで、命を失う惨劇から子ども達を守ることができると思います。

伝えていくのは、大人の責任だと思うから・・・これからも続けていきたいです。